

ずいそう

東北めぐり

齋藤貴之



この拙い文章を書いている今、私がいる宮城県仙台市は桜が満開です。桜を見ていると、入社以来20数年、東北県内色々な場所を仕事で回り、色々を見てきた名所を思い出します。

今回せっかくの全国誌ですので、私が見てきた東北名所を当時の思い出とともに読者の皆様に少しだけ紹介しようと思います。

まずは、**青森県**。青森県では、新幹線のトンネル工事に従事していましたが、青森といえばやはり「青森ねぶた祭」でしょうか。全国各地から観光客が集まりますが、ねぶたは見るだけでなくハネトとして参加することです。私も青森にいた3年間は同僚と毎年、仕事そっちのけで連日参加していた気がします。衣装のレンタルもありますので「らっせらー！らっせらー！らっせらー！らっせらー！」の掛け声とともに是非参加してみてもはどうでしょうか。また、ねぶたを見るなら、おすすめは五所川原市での「立佞武多（写真1）」です。高さ20mを超える山車の運行は壮大で見事です。青森ねぶたと一緒に是非見に行ってみようか。



写真1 立佞武多

次に**秋田県**。入社して最初の現場が秋田県平鹿郡山内村（現在は横手市山内）の大松川ダム建設工事でした。東北が初めてだった私は山内村ってどこですか？どんなところに連れていかれるんだろうと思ったことを思い出します。横手市山内は県内でも有数の豪雪地帯で、かまくらが有名です。毎年「横手かまくら祭り」も開催されています。幻想的なかまくらの中で、B級グルメで有名になった横手やきそばを食べてみるなんてどうでしょうか。

次は**福島県**。福島県では矢吹町で農業用水路の推進工事に携わりました。工程が厳しく、初めての民家が近いところでの工事だったため、非常に苦労したことを思い出します。その矢吹町の隣にある白河市で、毎年2月11日に「白河だるま市（写真2）」が開催されます。当時忙しい中、地元の方から「白河だるま市」があるから行ってみたいと言われて、息抜きをかねて行きました。だるま市という名の通り、本当にだるましか売ってませんが、だるまを売る700軒もの露店が立ち並びます。小さいものは高さ8cm、一番大きいもので高さ90cmの18種類のサイズのだるまが売られています。縁起物のだるまですが用途によって色が違うそうで、一般的な赤色のだるま以外にも紫やピンクのだるまも売られています。だるまは小さいものを購入し、年々大きなだるまに買い替えるのが習わしだそうです。白河までは東京から新幹線で1時間程度で行ける場所です。毎年2月11日には白河に来てみてはどう



写真2 白河だるま市

でしょうか。

次が**山形県**。山形県では長井市で長井ダム建設工事の原石山・骨材採取工事に携わりました。山形県はそばが有名ですが、長井でも新そばの時期になると毎年、地元の協力会社の方に指導してもらいみんなでそば打ちをしました。そんな長井では、花見というと桜よりも5月下旬に満開となる「白つつじ」です。その時期に開催されるのが「長井黒獅子祭り(写真-3)」です。長井市内の数十社の神社から黒獅子が勇壮な舞を繰り広げます。長井の黒獅子は大人数の舞手が入るので迫力があり、黒獅子を押さえつける警護との力比べは見どころです。是非この圧巻の黒獅子の舞を見にきてはどうでしょうか。

次は**岩手県**。岩手県では東日本大震災の復興工事で宮古市・釜石市で復興道路トンネル工事に携わりました。震災後何もなくなってしまった釜石市鶴住居地区



写真-3 長井黒獅子祭り

に事務所をかまえて工事をやってきましたが、その場所に今年2019年9月に開催されるラグビーワールドカップの会場となる釜石鶴住居復興スタジアムが完成しました。ドラマあまちゃんで有名になった三陸鉄道リアス線も先日全線開通しましたので、是非、復興した町を見にきて欲しいと思います。

最後に**宮城県**。宮城県では仙台駅東口近くで共同溝のシールド工事に携わりました。仙台市内のメイン国道を夜間に片側交通規制をして工事をしていましたが、ある時、夜間作業でトラブルが起き、朝になっても交通規制を解除できず大渋滞を引き起こしてしまい、上司にひどく怒られたことを思い出します。その仙台駅東口も再開発が進み、今は楽天イーグルスの本拠地である楽天生命パーク宮城まで、とてもきれいな街並みとなりました。楽天生命パークも非常にきれいな球場で、私も年に数回同僚と野球観戦に行ってます。この文章を書いている今は楽天イーグルスは首位を走っていますが、掲載される時には何位なのでしょう。球場までは仙台駅からバスで5分ほど、歩いても行ける場所です。2年前は途中失速してしまった楽天イーグルスですが、今年こそは優勝できるように、みなさんで応援に行きませんか。

以上ですが、文章を書きながら昔を思い出し、また各地を見てまわりたいと思う今日この頃です。

東北には他にもまだまだたくさんのお名所があります。是非多くの方が東北を訪れてくれることを願います。

——さいとう たかゆき 西松建設(株) 北日本支社 土木部 機電課 課長——